

| | |
|---------|--|
| 会 議 名 | 平成24年度第1回港区3R推進行動会議 |
| 開 催 日 時 | 平成24年5月22日（火）午前10時から12時まで |
| 開 催 場 所 | エコプラザ3階会議室A |
| 委 員 | （出席者）崎田座長、内藤裕子委員、木原委員、榊中委員、藤野委員、小林委員、鈴木委員、内藤俊之委員、島村委員、荒川委員、長谷川委員 （欠席者）森委員、桜林委員、武田委員、亀田委員 |
| 事 務 局 | 日山、高島、北川 |
| 傍 聴 者 | なし |
| 会 議 次 第 | 区挨拶 1. 報告事項 2. 意見交換 3. その他 |
| 配 付 資 料 | 1. 「3R推進行動会議」設置要領 2. 平成24年度港区3R推進行動会議委員名簿 3. 古着・廃食用油の資源回収実施結果 4. 「エコライフ・フェアMINATO2012」出展概要 5. 平成24年度3R推進事業の進め方（案） 6. みんなで広める！段ボールコンポスト講座（案） 7. 生ごみを減らす料理の推進プロジェクト（案） 8. 事業者のための紙ごみ減量セミナー（案） 9. 事業者のためのフードバンクセミナー（案） 10. 港区3R推進行動計画 現行版・改定版（案） [参考資料] ・ みんなと3R～レポートその4～ ・ 清掃とリサイクル2012 ・ 港区一般廃棄物処理基本計画 |

主な発言・報告内容

1 報告事項

●事務局からの報告

港区3R推進行動会議 設置要領の改定

平成24年度から区の組織改編があり、設置要領を改定する。

平成24年度 港区3R推進行動会議委員

港区消費者団体連絡会の森委員、芝地区総合支所協働推進課長の荒川委員、環境課長の亀田委員、みなとリサイクル清掃事務所長の長谷川委員が今年度変更となっている。

古着・廃食用油の資源回収 実施結果

平成23年度は各総合支所管内（区内5地区）で、家庭で不用になった古着と廃食用油の資源回収を行った。回収した古着や廃食用油は、資源回収業者を通じてリユース（再使用）、リサイクル（再生利用）した。各地区で実施することで、より多くの方にご参加をいただき、資源の有効利用の大切さをPRする機会となった。

●主な発言

- ・ エコプラザの洋服ポストで古着回収を行っており、好評である。
- ・ 古着回収の取り組みは確実に広がっているので、情報が定着すればよい。
- ・ 港区でも常設の古着回収ボックスの設置を検討してみてはどうか。
- ・ 回収後の流れをしっかりとPRしてほしい。

2 意見交換

(1) エコライフ・フェアMINATO2012出展について

●事務局からの説明

エコライフ・フェアMINATO2012において、家庭で不用となった古着、廃食用油、小型家電の資源回収を実施する。古着は回収業者を通じて海外で選別後、リユース（再使用）・リサイクル（再生利用）される。廃食用油は、回収業者を通じてBDF（バイオディーゼル燃料）、石けん、塗料、肥料などにリサイクルされる。小型家電は、製品に含まれる有用金属を資源としてリサイクルする。また、ブースではパネル等を活用し港区3R推進行動会議の活動を紹介する。

●主な発言

- ・ 回収後の流れがわかる簡単なチラシをつくれればよいのではないか。
- ・ 映像で流すのはどうか。
- ・ 回収後の流れをチラシとして配布するのであれば、名刺サイズで、感謝の言葉、次回の

場所と日時、リサイクル後の流れがわかるものにするのはどうか。

- ・ 廃食用油を持ってきてくれた人に実際につくられた石けんを配るのはどうか。
- ・ 廃食用油を回収した奥でそれを使った手作りキャンドルをつくれるコーナーを設けることはどうか。
- ・ 廃食用油は昨今、別の用途に用いられているため貴重になっている。
- ・ 今後、各総合支所管内で開催される日時・場所がわかればよい。
- ・ 古着回収の開催について、ホームページでも掲載していればアドレス等をチラシに載せて確認してもらえばよい。

(2) 平成24年度3R推進事業の進め方について

●事務局からの説明

平成24年度3R推進事業の進め方(案)

平成23年度第4回3R推進行動会議(平成24年3月22日開催)において出された24年度の事業の進め方についての意見と、平成24年3月に改定した「港区一般廃棄物処理基本計画」を踏まえて、今年度どのような方向性でごみの減量やリサイクルを推進するのかを検討し、事業案を作成した。

みんなで広める!段ボールコンポスト講座(案)

家庭にある段ボール箱を活用した生ごみ堆肥化の方法を紹介する講座(段ボールコンポスト講座)を開催する。併せてベランダでの野菜づくりの方法も紹介する。区内の各地区で開催することで、より多くの方に生ごみの減量方法をお伝えする。

生ごみを減らす料理の推進プロジェクト(案)

生ごみを減らすために家庭でも簡単にできる料理方法を紹介する。また、参加者の方から新たなレシピを募集し、エコレシピ集としてまとめ、配布することで広く紹介していく。

事業者のための紙ごみ減量セミナー(案)

中小の事業者を対象とした紙ごみ減量のセミナーを開催する。中小の事業者が集積するエリアを重点対象として、多くの中小企業が参加できるセミナーを企画する。

事業者のためのフードバンクセミナー(案)

まだ食べられるのに捨てられてしまう「食品ロス」を削減するため、事業者向けにフードバンクの仕組みを紹介するセミナーを開催する。

●主な意見

- ・ 既存の組織をうまく活用し、広報PRしていくべきである。

- ・ 資源としての処理コストの方がごみ処理コストよりも安くなるので、そのことが定着すればよい。
- ・ フードバンクのセミナーでは、フードバンクの取り組みを普及するだけでなく、企業努力や企業間での情報交換の内容を区民に広めることで相乗効果が得られれば良い。
- ・ フードバンクセミナーについて、セミナーの対象をどこにするかではなく、個別に大手メーカーや大手スーパーを説得した方がよいのではないか。
- ・ 大企業では震災等に備え食糧を備蓄しているが、備蓄の食糧も賞味期限があるので、フードバンクに差し上げて備蓄商品を買替える取組みもある。
- ・ 震災後、モノの流れをよりよくしていくことについて考え始めている。また、食品リサイクル法の発生抑制目標値も明確に定まり始めている。事業者同士の情報交換も必要だが、このような動きを区民に知ってもらうことも大切である。結果として自治体の生ごみが減ることにつながればよい。
- ・ 震災を契機に自治体と企業が連携し始めている。行政との関わりの中で大きな枠組みの中で活動ができるようになってきている。
- ・ 去年は食品リサイクル工場への見学会を行った。区で生ごみからエネルギーをつくるプラントをつくれぬか。そこでエネルギーになる仕組みを事業者や区民に伝えられれば良い。都心だからこそ、そのような動きがあればよい。
- ・ 生ごみの発生抑制に取組みながら、出てしまったものについては堆肥などにリサイクルし、それもできなければエネルギーとする、という全体の流れの中で把握できればよい。自給率40%の食糧をいかに使いきるかを考える必要がある。
- ・ 食べ残しのロスを考えていたが、食べずにそのままロスになっていることも多い。その処理方法について事業者で決めてもらえれば消費者としても協力しやすい。

家庭系のごみを減らすプロジェクトと事業系のごみを減らすプロジェクトの両者が別々にあるのではなく

(3) 港区3R推進行動計画の見直しについて

●事務局からの説明

港区一般廃棄物処理基本計画の改定に合わせ、3R推進行動計画も改定する。

●主な意見

- ・ サポーター登録制度について、これまで取り組んできたが、現在どの程度がいるのか。
- ・ 計画を改定する場合は旧計画の振り返りを行うべきである。情報があればほしい。
- ・ 前回からの変更点がわかればよい。
- ・ 区が実施している事業と、3R推進行動会議の事業をきちんと分けて記載したほうが良い。